御池沿道関係者協議会ニュース　第７号

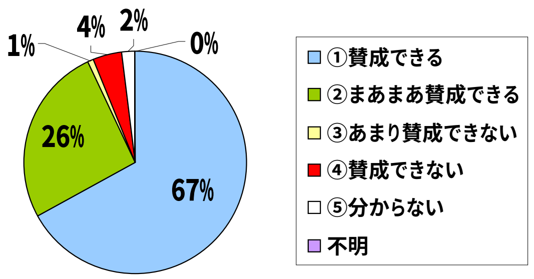
「御池通の目標像」
○シンボルロードとしてふさわしい建物景観の形成
○にぎわいと文化の創出
○花と緑が溢れる憩いの環境
○パートナーシップによる育み

アンケートの集計結果について（その２）

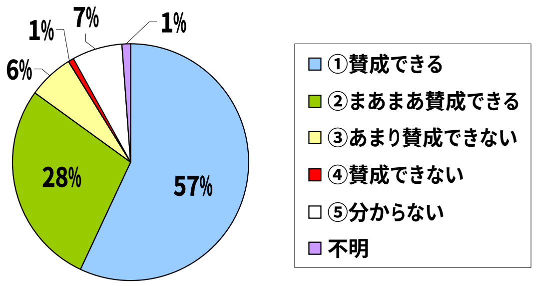
前号（第６号）のニュースに引き続いて集計結果を下記に掲載します。

○御池通の目標像についての結果［抜粋］

シンボルロードとしてふさわしい建物景観の形成についてどう思われますか？

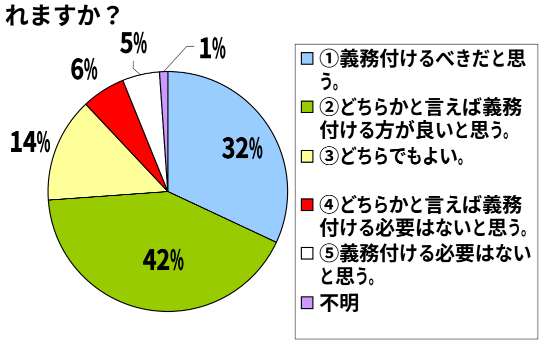


パートナーシップによる育みについてどう思われますか？

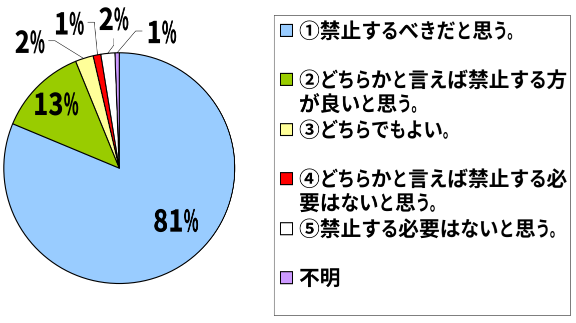


○沿道建築物に関する設問の結果について[抜粋]

御池通に面する建物の１階部分に店舗・事務所等のにぎわい施設を義務付けることについてどう思われますか？



シンボルロードにふさわしくない一定の風俗営業の建築を禁止することについてどう思いますか？



第２回「御池沿道関係者協議会・景観形成部会」を開催しました。

平成１５年７月２日（水），御池通室町南西角の葆光ビルにおいて第２回「御池沿道関係者協議会・景観形成部会」が開催され，活発な討議が行われました。

＜主な内容＞

・建築物１階用途を店舗・事務所等に義務付けること及び一定の風俗営業の禁止については，具体化に向けて検討する。
・３１メートルの水平ラインの強調等については，意見が多様に分かれているため，引き続き検討する。
・御池通の景観形成の方向性やイメージ図は沿道景観形成計画で既に示されている。御池通をシンボルロードとするためには，息の長い取組も必要である。
・「景観形成」と「にぎわいづくり」は，互いに関連している問題なので一度議論をまとめた方がいいのではないか。